

ご指導いただいた高等学校の先生方からの声

第18回高校生福祉文化賞エッセイコンテストに先生方からお寄せいただいた声の一部を紹介します。

本校の小論文演習では、テーマに即した内容を相手に正確に伝わるように、表現方法を工夫したり、文章構成を考えたりする力をつけることが目的の一つになっています。今年度も、テーマの解釈や書き方について学んだ後、各自が自分の考えを整理して表現する場として取り組みました。応募期間が長いことや複数のテーマが設定されているため、本校の生徒には取り組みやすいと感じています。

◎愛知県立一宮聳学校

剣道部の活動の一環で、振り返りの時間として活用。ボランティア活動を高齢者福祉施設（車いす清掃、トイレ・部屋の清掃、おしぼり洗濯、食事の配膳、プランターの整備等）と地元の公園・駅清掃などで実践しており、お世話になっている地域が元気になるためにはどうすればよいか、もう一段深く考えるきっかけになりました。

◎千葉県立千城台高等学校

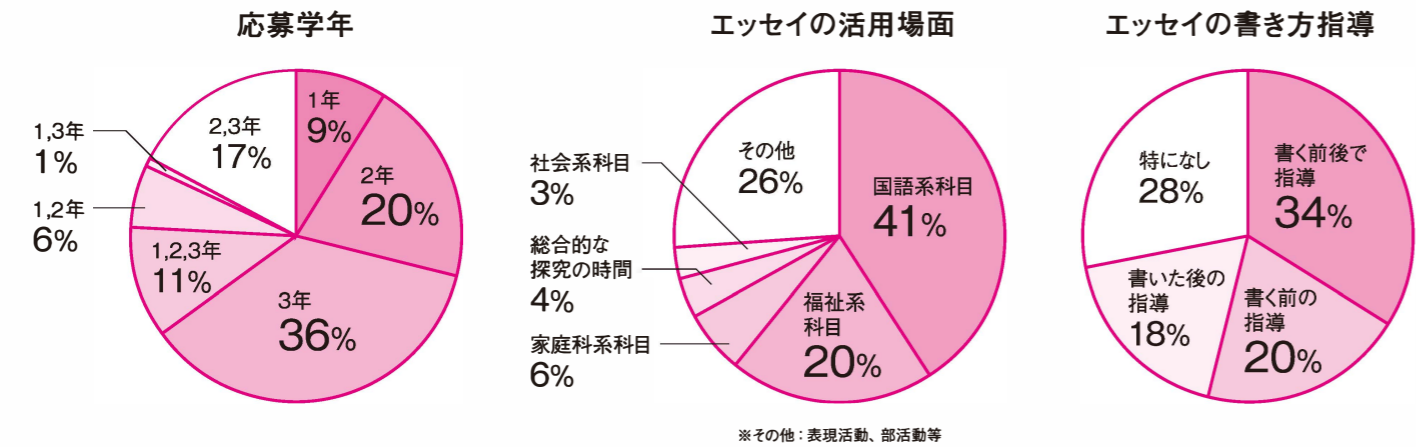
以下①～③の流れで、生徒一人ひとりと個別に面談等しながら、書き進めました。①気になること、考えてみたいこと、調べてみたいことは何か？を明確にする。②①が気になる理由・自分の経験や体験について書きだす。③①②をもとに、エッセイにまとめる。自分の思いを文章にまとめるというプロセスを通し、生徒たちの大きな成長や学びの構築、視野の広がりなどの変容を確認することができました。

◎愛知県立杏和高等学校

新入生への課題として取り組みを促しました。休校期間中に否が応でも家族との時間が増えるなか、これまでの自分と家族との関係を見つめ直すきっかけや、次年度に控える系列選択を考える契機として活用。生徒の考えや取り組みがどのように学外で評価されることも、今後の学校教育のあり方を模索していくなかで一層重要になってくるのではないかと感じています。

◎福井南高等学校

団体応募ご活用データ ※第18回高校生福祉文化賞エッセイコンテスト 指導教員用作品送付シートより



第18回応募結果

【分野別応募数内訳】

総数 **8,193**点

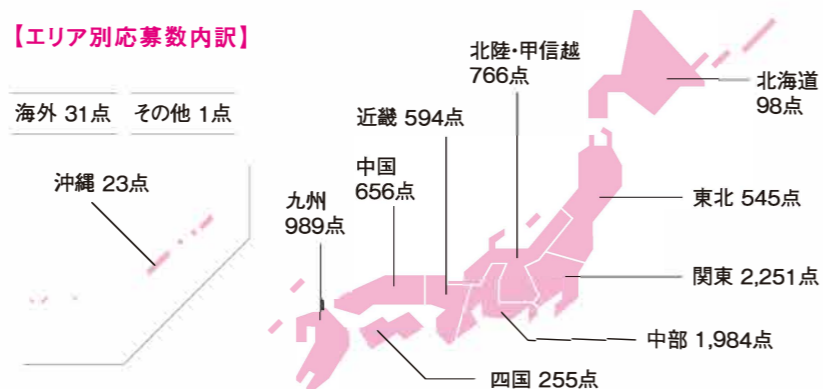
(団体応募144校 7,941点
個人応募247人 252点)

分野① ひと・まち・暮らしのなかで …… 3,862点
分野② スポーツ・文化活動とわたし … 1,415点
分野③ すべての人が幸せであるために … 2,916点

【エリア別応募数内訳】

海外 31点 その他 1点

沖縄 23点



日本福祉大学

◆問い合わせ・資料請求先

日本福祉大学 エッセイコンテスト事務局 〒460-0012 名古屋市中区千代田5-22-35
TEL:052-242-3045 Eメール:21essay@ml.n-fukushi.ac.jp
ホームページ <https://www.n-fukushi.ac.jp/50th/essay/>

◆作品送付先

株式会社TADコーポレーション「日本福祉大学高校生福祉文化賞」事務局
〒520-1102 滋賀県高島市野田1678



第19回

高校生福祉文化賞 エッセイコンテスト

36°C の言葉。

あなたの体温を、伝えてほしい。

毎日のなかで、ふと感じたこと、疑問に思ったこと、考えたこと。
あなたの体温で、あなたの言葉を聞かせてください。



高等学校の先生方へのご案内

さまざまな学びのシーンで活用いただいています

国語表現の時間に

福祉・公共関連の時間に

休暇中・自習の課題に

SDGs関連の時間に

効果的な探究学習のために

◆主催/日本福祉大学、朝日新聞社

◆後援/文部科学省、愛知県教育委員会、日本青年団協議会、日本赤十字社、朝日新聞厚生文化事業団、ベネッセグループ(株)進研アド

地域に根ざし、世界を目指す「ふくしの総合大学®」
 日本福祉大学

高校生福祉文化賞エッセイコンテストとは

「福祉（ふくし）」という言葉の本来の意味は「人のしあわせ」。人々の暮らしや社会のしくみを安心・安全なものにし、誰もが尊重されいきいきと健やかに過ごせるようにすることです。自然環境をめぐる世界的課題や、格差や貧困などの社会課題がクローズアップされる一方で、5GやAI等のテクノロジーが暮らしを劇的に変えている現代。社会情勢が目まぐるしく変化している時代だからこそ、「人のしあわせ」という普遍的な価値観をもつ「福祉（ふくし）」がますます重要になると考えます。自らの体験を通して書くエッセイが、身近にある幸せを考え、自分を見つめ直すきっかけとなり、「福祉（ふくし）マインド」を育み、考え・行動することにつながればと願っています。先生方からは「生徒の成長を感じた」「生徒を理解する良い機会になった」という声を多くいただいています。800字にまとめるエッセイは、書くことに慣れ、自分の考えや思いを伝えるスキルを身につけるのに最適。ぜひ本コンテストにご参加ください。

募集要項

テーマ：**わたしと福祉**

詳しくはこちら▶



分野① ひと・まち・暮らしのなかで —わたしが感じていること—	分野② スポーツ・文化活動とわたし —わたしが大切にしていること—	分野③ わたしが考えるこれからの社会 —すべての人が幸せであるために—
身近な地域での家族や友だち、知り合った人たちとの語り合いやふれあいの中で、心に響いた一言、感動的な出来事やしあわせを感じた体験がたくさんあるのではないのでしょうか。ふだんの何気ない暮らしを見つめ直し、人との出会いやまちの魅力について、あなたが感じていることを言葉にして聞かせてください。	学校の部活動でスポーツや美術、音楽などをがんばっている人。また、甚大な自然災害が続いた昨年、地域社会を支えるボランティア活動を体験している高校生もいると思います。取り組んでいる活動を通して感じたこと、大切な思い、はっと気づかされたこと、それを今後どう生かしたいかなど、あなたの体験を通して語ってください。	誰一人取り残さない社会を目指すSDGsの17目標にあるように、貧困・人権・地球環境などの課題について、グローバルな視点で考え、自ら行動することが求められています。すべての人が幸せである社会に向けて、あなたが実践していること、これから取り組みたいと考えていることについて、あなたの思いを込めて伝えてください。

応募資格

高校生

応募条件

- 上記①②③分野から一つ選び、エッセイとしてまとめてください。
 - 日本語で800字以内。
 - オリジナルかつ未発表の作品(他のコンテスト応募作品不可)。
 - 書籍などから文章引用した場合は出典を明記。
 - 点字での応募可(1行32マス×40～48行程度以内、黒字換算800字以内)

応募方法

- 【個人】専用応募用紙に必要事項を明記し、お送りください。
※専用応募用紙はエッセイコンテストホームページからも入手できます(A4またはA3サイズ規定)。
- 【団体】専用応募用紙と指導教員用作品送付シート(1校1枚)に必要事項を明記し、お送りください。
※専用応募用紙はコピーしてお使いください。エッセイコンテストホームページからも入手できます(A4またはA3サイズ規定)。
※指導教員作品送付シートは、エッセイコンテストホームページから入手できます。

- 必ず専用応募用紙を使用してください。
- 応募作品は返却しません。
- 応募者の個人情報、本コンテストの運営(入賞者への連絡、入賞発表等)、大学案内等の送付(希望者のみ)に使用します。

送付先

【郵送】〒520-1102 滋賀県高島市野田1678
株式会社TADコーポレーション
「日本福祉大学高校生福祉文化賞」事務局
【Eメール】21essay@ml.n-fukushi.ac.jp

応募締切

2021年8月4日(水)必着

審査員

角野 栄子(作家、日本福祉大学客員教授)
杉山 邦博(元NHKアナウンサー、日本福祉大学客員教授)
川名 紀美(元朝日新聞社論説委員、日本福祉大学客員教授)
久野 研二(国際協力機構[JICA]国際協力専門員、日本福祉大学客員教授)
金澤 泰子(書家、日本福祉大学客員教授)
板垣 哲也(朝日新聞社論説委員)
古内 由美子(進研アドマナビジョンブック編集部)
児玉 善郎(日本福祉大学学長)

入賞・授賞式

- 入賞
 - 最優秀賞(各分野×1名) ○優秀賞(各分野×2名) ○入選(各分野×3名)
 - 優秀学校賞(3校) ○奨励学校賞(10校程度)

賞状	副賞(奨学金)
	最優秀賞:10万円、優秀賞:5万円、入選:3万円、優秀学校賞:図書カード3万円

※入賞作品の著作権は日本福祉大学に帰属します。

- 入賞発表
 - 2021年11月3日(水・祝)朝日新聞紙上
 - 日本福祉大学エッセイコンテストホームページ
 - 入賞作品集
- ※入賞者には個別に通知いたします。※氏名、学校名、学年を公表します。

- 授賞式
 - 2021年10月24日(日) 詳細は9月頃コンテストホームページに掲載予定

身の周りの題材に対して、自身で考え、表現する。
エッセイを取り入れた学びは、「学力の3要素」の育成に活用できます。

■「知識」詰め込み型から「思考力・判断力・表現力」が問われる入試に。

2020年度から新しく大学入学共通テストが始まりました。その場で資料や問題文を読み解いて理解する力や、身につけた知識を組み合わせる自ら考え判断し答える力を測るような問題が出題される傾向がみられ、「知識があること」だけでなく、「知識をどう活かすか」がより重視されるようになりました。

■エッセイコンテストは、「学力の3要素」を育成する探究学習の題材に最適。

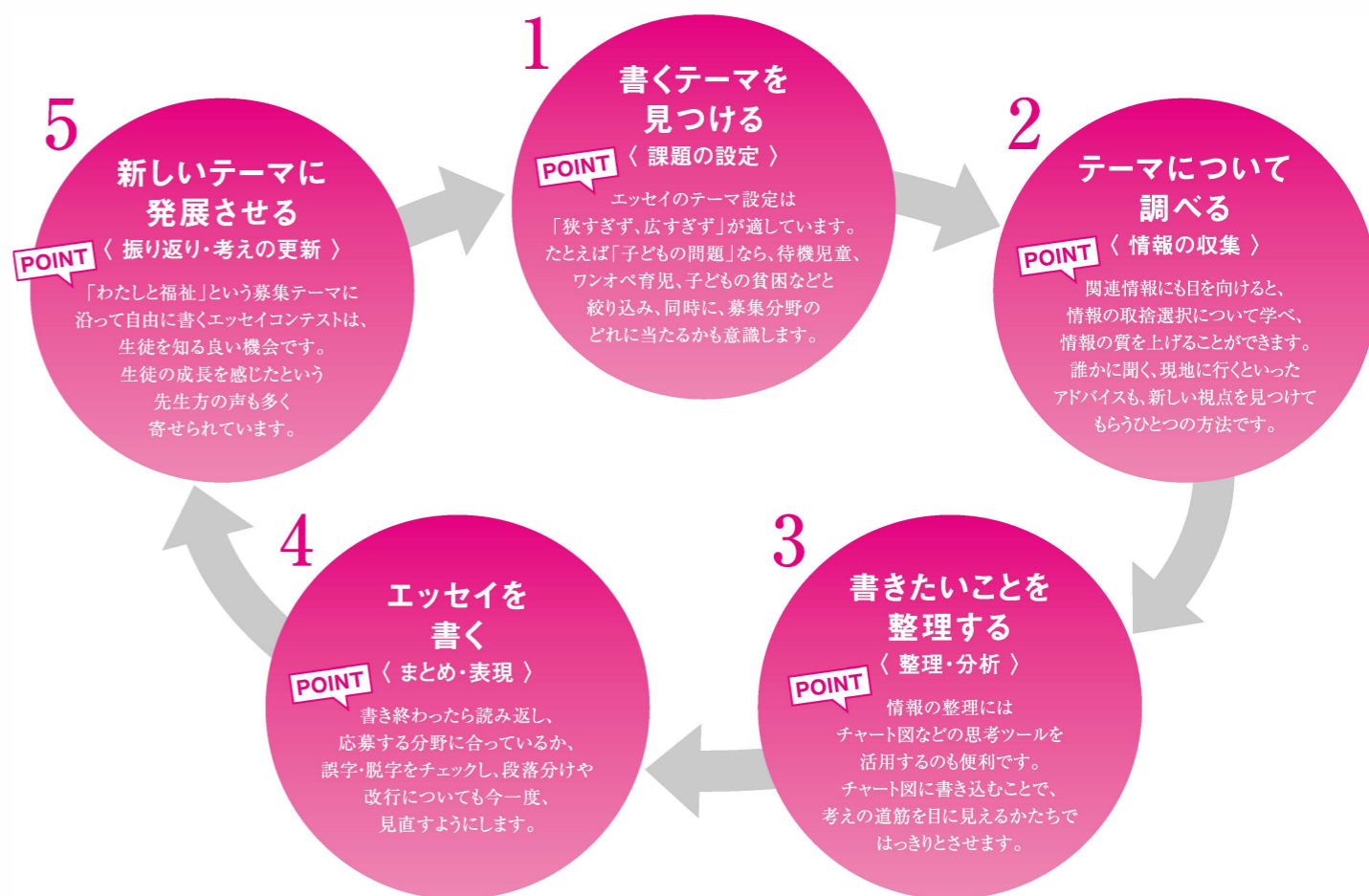
入試改革に伴い、「学力の3要素」をバランスよく養成することが必要になります。エッセイを取り入れた学びは、生徒の身近なできごとや社会・世界について考えるきっかけとなり、エッセイに取り組むことで「相手に伝える力」を養うことができます。ぜひ、エッセイコンテストを書く力養成のための課題・新入試への対策としてご活用ください。

～ 社会で求められる「学力の3要素」～

思考力・判断力・表現力

知識・技能

主体性・多様性・協働性



SDGs関連の授業の中でもぜひご活用ください。

